

〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場1706-3
電話番号 0969-22-3668 FAX番号 0969-24-4393
電子メールアドレス amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp



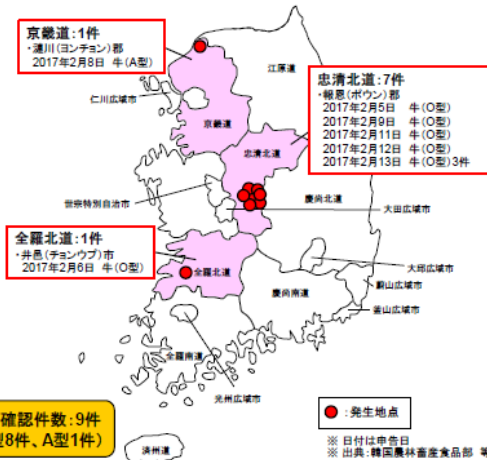
韓国で再び口蹄疫の発生

平成29年2月5日、韓国農林畜産食品部は、忠清北道報恩(ポウン)郡の乳用牛飼育農場において、平成28年3月以来約10ヶ月ぶりに口蹄疫(O型)の発生を確認したと発表しました。また、2月6日には全羅北道井邑(チョンウプ)市でO型、京畿道漣川(ヨンチョン)郡ではA型による口蹄疫の発生が報告され、2月14日までにO型8件、A型1件の発生が報告されています。

国内では平成22年4月の宮崎県における発生以降、口蹄疫の発生は報告されていません。しかし、これまでの国内発生事例では、韓国で流行があった後に何らかの経路によりウイルスが侵入して発生したと考えられているため、今後も警戒する必要があります。

つきましては、特に下記の事項に御留意のうえ、ウイルスの侵入を未然に防ぐため、飼養衛生管理基準の遵守の徹底をよろしくお願ひします。

2017年2月14日現在
韓国における口蹄疫の発生状況
(2017年2月以降)



発生予防の徹底をお願いします！

- ★口蹄疫が発生している韓国や中国等への渡航は、可能な限り控えましょう。
- ★農場の出入口に看板を設置し、農場内へ不要・不急な者を立ち入らせることのないよう、関係者以外の立入を制限しましょう。
- ★農場に持ち込む物品や出入りする車両の消毒を徹底しましょう。
- ★農場の出入口に踏込消毒槽等を設置することにより、出入りする人の靴底(長靴)の消毒を徹底しましょう。
- ★農場を出入りした人・車両等に関する情報を台帳等に記帳し、少なくとも1年間は保管しましょう。
- ★毎日、飼養家畜の健康観察を行い、疑わしい症状を見つけた場合、すぐに家畜保健衛生所に連絡しましょう。

通報 家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。
天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668

毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」



平成28年度における病性鑑定の実施状況

主徴		乳用牛	肉用牛	豚	鶏	その他	計
死亡		0	7	0	1	0	8
下痢症		0	5	0	0	1	6
うち伝染性下痢症		0	0	0	0	0	0
呼吸器病		0	0	0	0	0	0
うち伝染性呼吸器病		0	0	0	0	0	0
発熱		0	0	0	0	0	0
食欲不振		0	2	0	0	1	3
発育障害		0	0	0	0	0	0
その他	BLV	0	29	0	0	0	29
	神経症状	0	0	0	2	0	2
	その他	0	0	1	0	0	1
	血液検査	0	14	0	0	0	14
計		0	57	1	3	2	63

平成29年2月28日現在



病変の肺、剖面から膿が流出



子牛を隔離して飼うことも有効な対策の一つです。

平成28年度に当所で実施した病性鑑定の実施状況（H29年2月末現在）は左記のとおりです。畜種別では肉用牛が57件で最も割合が高く、症状別では牛白血病が29件、続いて血液検査(生化学検査)が14件の順となっています。

肉用牛の死亡7件のうち、3件は子牛の呼吸器病によるものでした。

- 子牛の呼吸器病の予防対策として、
- ①子牛のいる牛房を清潔な状態に保ち、乾燥した敷料を十分用意する
 - ②分娩1~2ヶ月前から母牛に増飼いする
 - ③出生後6時間以内に初乳を十分に給与する
 - ④密飼いを避け、風を直接牛体に当てないように適宜換気する
 - ⑤寒いときは子牛用のジャケットや吊り下げ式ヒーターを用いて子牛を温める
 - ⑥獣医師に相談してワクチンを接種する等が挙げられます。また、呼吸器病を発症している子牛を、早期発見及び対応することも重要です。

子牛が呼吸器病を発症すると、治療費、発育不良、死亡のリスクが発生しますので、予防対策は重要です。

日頃から飼養衛生管理基準の遵守の徹底を指導して頂き、元気な子牛を生産しましょう。

海外悪性伝染病発生状況

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	韓国	2月8日	牛	A型
		2月5、6、9、11~13日	牛	O型
	中国	2月7日	牛/羊	O型
	モンゴル	1月24~29日	牛/山羊/羊	O型
高病原性鳥インフルエンザ	中国	1月10日	家きん	H7N9
	台湾	1月6日~1月22日	地鶏/鶏/あひる/七面鳥	H5N2
		2月2日	あひる	H5N6
	ロシア	1月1日、5日	コブハクチョウ	H5

3月1日現在